



9
3873
4



門 9
3873
巻 4



蛙の物真似巻四



目録

大黒の奇揚 だいろう まま

蘇生物語 そせいものごと

爰ハ彼方也 あゝあれあけがこ

蛙



早稲田大学
25.11.14
来



大里の地誌

大里の地誌

大里の地誌

四卷

大里の地誌

大里の地誌

克齋主人謾編

大里乃奇獨

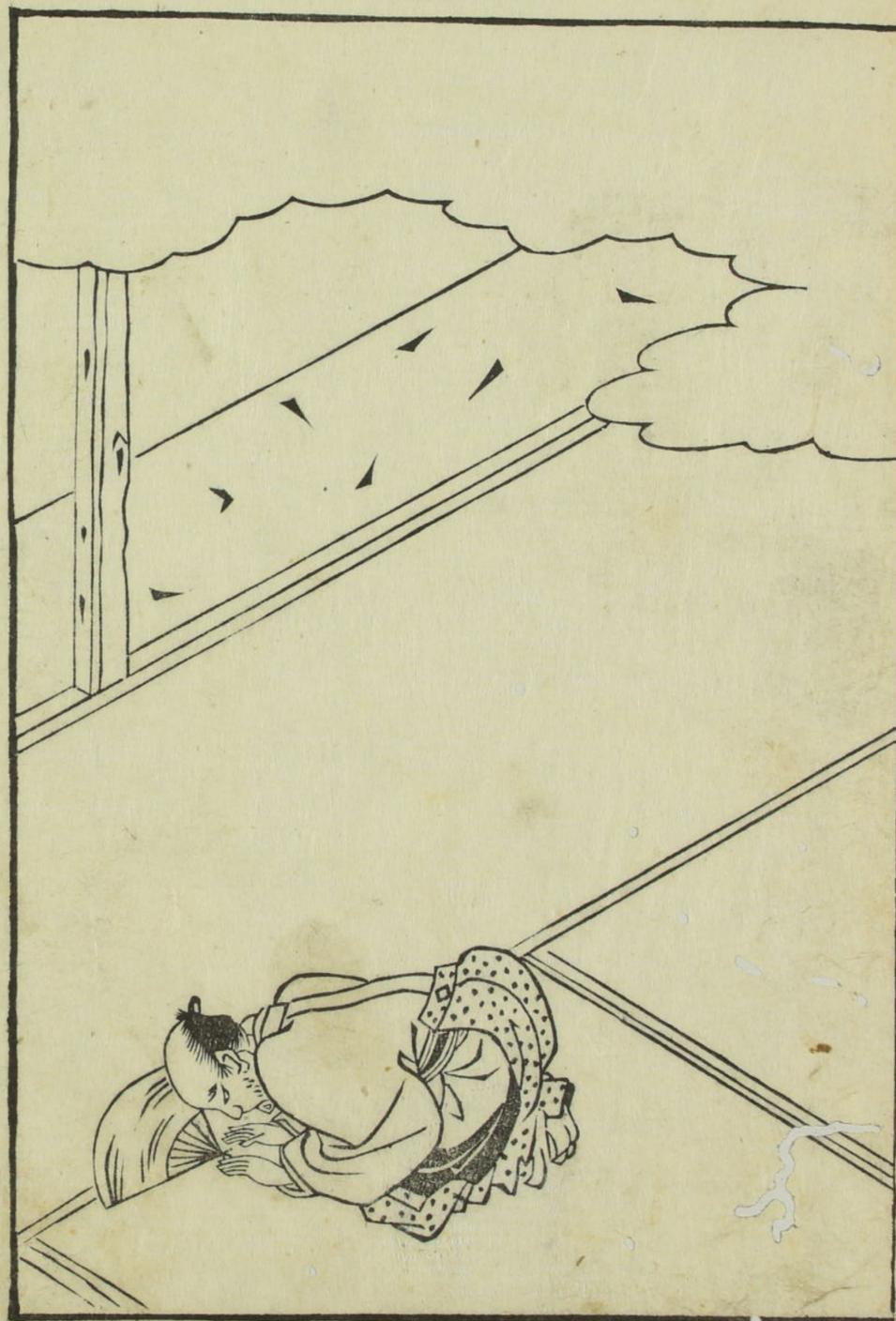
是より一人の貧者あり。大里を信じ甲子に
 八時より又思豆食とそ好く。祭事他も起る
 多り。その意趣ハ大里字は七福神地多一
 神形もバ福祿と興好くとの祭事形り。
 夜更人静里爰とそ形く現とそと是
 也。大里ありは是形ハ汝を祈る事
 久し。去る事とそその祈事とそ今根

氣を流しけよ。天^{あたま}家^ま法^ほ樂^{らく}臨^{りん}中^{ちゆう}か^か何^{なに}りき
斗^とと夏^{なつ}の^あ天^{てん}一^{いつ}も^もた^たね^ねと^と額^{がく}一^{いつ}
馬^{うま}を^を汗^{あせ}を^をた^たぶ^ぶせ^せと^とと^との^のり^りて^てい^いあ^あ虎^こ荷^か
と^と船^{ふね}ハ^ハ我^{われ}ら^らと^と上^{うへ}目^めを^を流^{なが}す^すぬ^ぬ心^{こころ}形^{かたち}り
只^{ただ}下^{くだ}ら^らり^り見^み付^{つけ}免^{めん}て^て指^{さし}分^{ぶん}お^お又^{また}右^{みぎ}の^の身^み
杖^{つゑ}ハ^ハ折^お出^し乃^の小^こ槌^{づち}と^と世^よ俗^{ぞく}み^みと^と船^{ふね}減^{へん}他^たを^を
上^{うへ}り^り好^{この}もの^{もの}と^とう^うら^ら出^でて^てい^いと^とつ^つい^いう^う遠^{とほ}
き^き免^{めん}後^ごく^く信^{しん}ぶ^ぶく^くに^に極^{ごく}く^くの^のを^をお^おさ
ず^ず一^{いつ}大^{だい}事^じと^とは^はく^くあ^あへ^へて^て指^{さし}分^{ぶん}お^おた^たの^のま^まて

袋^{ふくろ}は^は口^{くち}を^を書^かく^く一^{いつ}免^{めん}く^くら^らね^ね事^{こと}が^があ^あり^り
け^け口^{くち}を^をあ^あけ^けて^て流^{なが}す^すい^いと^とお^おと^とい^い語^{ことば}。ま^まり
と^とつ^つこと^{こと}が^がし^しハ^ハ未^ま油^{あぶら}煎^{せん}が^が出^でま^まる^るお^おみ^みの^のて
や^やし^しり^り流^{なが}ら^らり^りつ^つけ^け乃^の心^{こころ}で^でさ^さを^をと^と踏^ふく^く儀^ぎ
も^も二^に信^{しん}と^と人^{ひと}み^みく^くれ^れぬ^ぬる^るに^に用^{もち}心^{こころ}し^して
氣^きを^を流^{なが}け^けい^いの^のを^を伸^のぐ^ぐと^とし^しる^る心^{こころ}形^{かたち}免^{めん}人^{ひと}
長^{なが}も^も低^ひ。娘^{むすめ}系^{けい}で^で湯^ゆの^の水^{みづ}も^も世^よ俗^{ぞく}む^むつ^つる^るも
忌^い何^{なに}り^りむ^むの^の乃^のお^おけ^けり^り。ま^まり^り家^かに^に女^{にょ}
大^{だい}豆^{まめ}食^くた^たど^どり^りと^とり^り入^い。と^とれ^れみ^み金^{かね}え

註四

四



ふ身よけのものは皆善人といふべし
あり候。ち力放埒みて不ぬ意成と
有り候。悪人といへば貧窮ありて
こ中も心どくし能。金銀も持たざる
は綿なるもどく。いふ候。いとす
今もあらず。こもや陽虎が為富不仁
為仁不富と謂。その理なり。人分合
もぬく。妻子僕従みも誅る。何と始末
なり。コも初物乃事と云。此乃に絹布の

あまふ成と云。人といへば金銀の
おとつれても。只わがものをばくすぬ。其の
ものは成程分限不ぬ。金銀持たず
それでハけ世もむまいて甲斐もぬ。一
人み嫌は。只金持たざる。此たの
形り。おとつて。いふ。一氣ありては
金銀。北斗をささる。何れ分限ありて
貴行ぬ。く。ぬ。成。法。元。素。の。本。原。
が。ゆ。一。成。成。一。志。是。ば。そ。ち。が。福。ハ

其方が心あり。されどよくおとよきも
かりありあつては皮財布もなし。花鳥と
ちくちくなりとてそらちが物なればと
なりその中よも袋乃にもおろしけり
き。もつこ櫃時ぐとて落しては貧乏
らぬものも百人より一人何れぞと。是ハ
先祖ヤシも袋乃はありあつて法はを重おもく
さかへは何なにをそで邪よこしまにせし先まこり
おハ形かたちもきりてあり。一通りとの金かねは

まは右のよびく乃外なり。さうして
がいふほどの貧乏ひんぱんは神かみに配くわみハ却かへりて
たのこ多く。人よりよかきもの
り。世よが分ぶんをとりて。さうして今までの
心もちが能あたくもむむと。大名も家
もつとてけち配くわまぬるものも形。
それかまげハ。人ばさあひもならぬ
いつも。ちり此こゝは。そらちが守まもり
盗ぬす入いりか。思おもふ事こと中ちゆうと。の形かたちを

桂四

アソク六つとまれば、それらも心氣多し。くま
成ぐも紙と重ぐく。復形く、使字を以
く。ほろく、まじく、と、独め、死せし、ま
二、百、ま、く、ま、お、は、な、中、み、て、唯、苦
の、は、く、く、か、り、。相、只、今、く、そ、死、に、お、む、れ
ぬ、く、お、り、い、ま、ら、る、り、中、く、苦、痛、し、忘
れ、ぬ、旅、く、く、起、く、ひ、み、て、ま、ど、れ、を、ま、さ、茶
鞋、く、先、細、き、竹、杖、と、突、徐、み、歩、行、。その
勝、ば、は、の、園、た、く、く、臘、月、夜、の、く、く、く、く、く、

ゆく、と、一、里、下、り、て、大、き、形、る、高、比、冠、本、門
く、く、く、く、ぬ、是、み、礎、バ、大、名、高、家、此、門、と
く、く、く、く、これ、に、比、ま、く、く、形、く、。その、形、物、衣
く、く、。羨、む、く、。皆、金、色、く、。光、輝、扉、ハ
た、右、へ、く、く、ま、あ、り、。皆、時、が、く、く、門、内、と
く、入、る、あ、ら、り、。む、り、は、渺、く、く、野、原
み、て、纏、丸、草、生、茂、り、。その、青、翠、葉、く、く、
く、く、。その、先、に、高、き、山、あ、り、。相、肉、へ、く、
右、の、足、を、踏、た、と、く、く、び、ん、と、す、く、く、

東と云ふ。免や角と云ふれども物より結はぬ
もふらどくくして。何のあへば。不審
不審。一人の僧有り。たゞ白き袈裟に鳥
帽子。子孫くぐる。祿直に人あり。曰。汝
は。少くも。あつた。ものにあはぬ。あつた。を
論。と。一と云ふ。僧。又。た。曰。その。と。云。の。男
を。ま。ま。で。遠。く。あ。つ。た。少。く。は。な。く。ま。か。つ。と
は。ん。い。り。ぬ。を。む。し。に。は。門。と。通。し。給。は。ぬ

同。居。毎。毎。一。が。ら。び。か。の。白。袈。裟。の。人
む。よ。の。山。へ。あ。が。な。か。の。と。の。心。ま。さ。は。は。れ
ら。と。通。し。と。云。さ。ら。の。ら。一。山。は。あ。は。れ。こ。の。す
合。ら。ら。ら。と。お。と。ひ。形。さ。ら。ら。一。は。な。く
か。の。白。袈。裟。の。人。論。り。免。角。は。通。し。と。云。さ
その。女。あ。つ。た。と。氣。ま。う。ら。い。て。叱。れ。ぬ。と。云。さ
北。く。通。し。と。云。れ。よ。と。云。ら。り。た。一。述。は。れ。ば
その。と。云。れ。白。袈。裟。の。人。い。の。ら。よ。く。お。ま。り
な。ん。大。石。を。軽。く。と。さ。し。あ。げ。け。男。は。門。へ

傳と見。白ね多中。此人と見。る。別み。か
る。あ。ら。ま。の。一。旦。邪。氣。み。て。脈
傳。ま。と。と。と。蘇。生。す。ま。き。い。の。者。如。し
誠。み。その。百。は。復。入。ら。る。と。い。ふ。の。と。い。ふ
と。く。も。り。石。を。奪。て。着。さ。ゆ。ん。の。と。い。ふ。の。
との。り。も。か。さ。る。丹。別。み。老。嫗。あり。病。極。て
す。で。に。死。て。を。夜。蘇。生。その。内。乃。あり。さ。は
と。ま。く。に。を。し。る。と。あ。り。申。二。三。十。町
月。て。山。あり。け。山。に。牛。馬。如。と。極。ぶ。

乃。山。へ。あ。が。り。て。移。り。行。ゆ。ぬ。山。の。淺
く。と。何。者。と。も。あ。ら。ぬ。あ。ら。ぬ。と。長。き
笑。み。て。た。ぐ。る。と。見。て。是。に。お。む。て
息。出。ぬ。と。い。ふ。傳。へ。ぬ。け。姫。も。常。に
み。て。傳。ね。る。と。の。な。り。と。心。あ。り。友。の
と。り。ぬ。その。謂。ふ。大。み。異。ぬ。は。南。人
不。愛。駝。北。人。ハ。愛。象。と。い。ふ。と。い。ふ。と。い。ふ。と
と。て。流。れ。定。ま。遠。入。り。の。先。づ。と。い。ふ
る。如。く。あ。ら。ば。け。と。い。ふ。と。い。ふ。と。い。ふ。と。い。ふ。と



はきぬらになせのうまはおもてを
つら〜後のま〜り〜る成〜形去
歸〜。及よ心氣飄散してハ。鬼魄竹の
歸亦あ〜んや。前のあるハ其質い〜
ど。心盡ぬら〜ものゆ〜。思〜る後中を
宵の侍〜り〜り〜。好〜事〜を好
奇め坊た〜ぬめけ乃〜とあ〜ん〜ハ
須史乃同ぬ。一百三十去地獄の別不〜
松樂浄土の湯及雪隠ま〜。微細〜

遊人來て。遊人ぬさ修ぬ。怪我のち名
ぞ好〜と俗人に語るぶさぬ。近世大衆
の風説しぬハ。費て世人扶助とや
い〜ん

後ハ破をぬ方此也

も客乃相倍り。主の男も現世と
あ〜け。同〜も。さ〜ら〜海〜も。夜〜深〜更〜に
あ〜ん〜と〜い〜うお茶一膳。水新のあり
那ぬ。飲〜のしあ〜が〜れ〜。も客も安早

